

さらばグレートフォンテイン

10ヶ月住んだ町を經つ日。

ついに別れの時が来ました。

たまたま、予定より早くなっただけで、この様な日は必ず来るのです。

朝早く、良くしてくれた教会の牧師さんがN\$200のマットレスを2枚取りに来ました。

せめて寄付になればと、申し出ました。

ついでに、布団と枕も。

些細な事なのだけど、とても喜んでくれました。

買い物に行ったら、スーパーの主人に捕まりました。

お前、もう帰るみたいだな…。

パソコン調子が悪いから、見てくれと。

見たが、アプリソフトの問題みたいでした。

それが、明らかだったので南アの業者に確認した方が良いよと伝えました。

部屋の片付けを開始。

午後に、隣町のツメブから、最後に隊員がお別れに来てくれました。

一玉のスイカと共に。

近くの少年を呼んでスイカ割をしました。

とても甘くて感激しました。

夕飯は、タクシーの時間に間に合うように簡単な物を作りました。

シーフードパスタのクリーム味。

私が腕を振るいました。

と言っても簡単ですが。美味しかった。

夕方に、帰って行き、また部屋の片付け。

意外と、すぐに片付けました。

最初から、そんなに時間がかかるとも思っていませんでしたが。

これで、あとは、夜行バスで首都にあがるのみです。